

第二次地域福祉計画に向けて！ ～ 最終回・プレゼンテーション ～

こんにちは。地域福祉課課員の小川和真（おがわ・かずまさ）です。
 今回でいよいよ最終回として2010年12月13日に行われました第3回市民会議の様子を、私がレポートさせていただきます。
 さて、今回も皆様のおなじみとなっている、芦屋市福祉センター3階会議室1にて行われました。19人の市民委員が参加され、今までの総まとめとして、専門委員の先生方の前で、「第二次地域福祉計画」に向けたプレゼンテーションを行いました。



まず、これまでの半年の取り組みを振り返りながら、4つのグループで提案をまとめていきました。そして、具体的な取り組みも含めたプレゼンテーションを行い、専門委員の先生方から、印象に残ったこと、提案、市民会議全体について、講評していただきました。

最後に行政の担当者から、今後の計画策定の予定と、市民会議の成果をどのようにつないでいくかを説明し、期待を新たにしながら、フィナーレを迎えました。

なつかしいなあ…



最初に、今回もご活躍いただきましたファシリテーター岡村さんが、第1回からの流れをまとめたパワーポイントでプレゼンテーション。委員の皆さんの議論の様子がスクリーンに映し出され、心地よい音楽とともに記憶が呼び起こされました。夏から始まった市民会議を思い出し、「あんなこともあったなあ～」「半そでの季節から、もう寒くなったんだなあ」といったことばが聞こえてきました。

もっと伝えられることはないだろうか？

これまでの取り組みを思い出しながら、グループごとに、この後に控えるプレゼンテーションの準備です。

今日までの間にメンバーで自主的に集まれたグループもあり、順調に準備がすすんでいきましたが、「もっとこうしたほうがいいのではないか」といった、積極的な意見が飛び交い、提案の中身がいつそう深められていきました。





Aグループの発表の様子



Bグループの発表の様子



Cグループの発表の様子



Dグループの発表の様子

- どのグループも、手法は違うものの、非常にわかりやすく“何を伝えたいか”が伝わってきました。念入りに発表の練習をされていたんでしょうか？皆さんの熱意で会場は熱気ムンムンでした！

さて、いよいよお楽しみのプレゼンテーション！ 模造紙、フリップ（紙芝居）、パワーポイントなど、各グループが趣向を凝らした発表が行われました。ここからは保健福祉部長も参加し、専門委員の先生方とともに、皆さんのアイディアに期待しながら耳を傾けました。

まずは、「A.『市民』と『市民』、『市民』と『行政』の協働をもっと進めたい！」というテーマについての発表です。このグループは前回の自主ゼミで話しあいができなかったのですが、短時間の中で、市民と協働するには、何か役割を持ってもらうこと、市民と行政の協働では、市民が職員に積極的に提案することや苦楽を共にすることが大切であり、いずれも「地道にしっかりやっていく」ことが大事なコンセプトだ、とまとめられました。

「B.地域の住民や団体等のつながりをもっと強くしたい！」が次のグループのテーマ。前回の後に自主的に集まって作成されたパワーポイントで発表されました。『ひとり一役運動』と名付けられた取り組みは“地域に関心のない人たちに関心を持ってもらうにはどうしたらいいか”に着眼点を置き、「それぐらいなら出来るかな…」と思えるような役割を地域にたくさんつくりながら、「みんなつながれ作戦」に挑戦するという、心強い“希望的宣言”も出されました。

続いては、「C.地域福祉活動、ボランティア活動の担い手を増やしたい・地域生活での困りごとを支援するサービスや活動を充実したい！」のグループです。具体的な取り組みとして、「市内各所に誰もが集えるベンチを設置し、マップを作成する『芦屋ベンチプロジェクト』を行い、ベンチにまつわるストーリーや、絵画を募集する」といったユニークな案が満載でした。

最後のグループは、「D.行政・地域・個人の情報をもっと活かしたい！」というテーマです。「行政からの情報は多すぎる」という課題に対し、『市民発信型の情報紙』をつくる。そして、「作成方法を学ぶため、市の広報紙づくりにも参加したい」というアイディアも出されました。これなら市民と行政の協働も深まりそうですね。

専門委員からの講評では、「提言で終わらず、実行していく姿勢が見えるので楽しみ」、「みんなで課題を“仕分け”した提案がきちんと取り入れられるかを見守っていかう」などのご意見や、「何のための“つながり”なのかももう一度考えてみては」といったアドバイスをいただき、“皆さんのこれからの活動に期待している”というお気持ちが伝わってきました。

これらをふまえ、今後の計画づくりの予定の説明と、「市民会議の報告を受けて市民参加で策定していく」という決意表明を、行政の担当者が行いました。

最後に保健福祉部長が感想とみなさんへのお礼を述べて、自主ゼミも含めると計5回の市民会議が終了となりました。

今回の市民会議は、今まで地域のために何かに取り組まれていた人も、これから取り組む人も、非常に良い情報交換と“夢を語れる場”になったと思います！



佐瀬先生からコメント



孫先生からコメント



意見交換



牧里先生からコメント

これまでご参加いただき、本当にありがとうございました。毎回長時間にもかかわらず、最後まで「地域福祉のためどうすればよいか？」真剣に、熱意を持ってチームワークを築き、毎回、繰り広げられる意見交換・・・胸が熱くなりました！！

みんなと協力し、話す内容を深めることで、地域のことを別の視点から見つめなおし、つながりの大切さを再認識することができたのではないのでしょうか。

さて、皆さんに提案いただいたプレゼンテーションなどをもとに、「報告書」を作成します。ぜひ、セカンドステージである検討委員会（部会）につなげていきたいです。

皆さんの思いを次の地域福祉計画策定委員会へと「つなぐ」ため、メッセージをお送りください。「報告書」の中に掲載させていただきます。 (事務局 寺本・竹田)

きびしくもあたたかい助言を いただいた専門委員のみなさま

関西学院大学 牧里 每治 教授
関西学院大学 孫 良 准教授
甲南女子大学 佐瀬 美恵子 准教授

みんなで考え 議論してきました

— 市民会議のメンバー —

会議の活動力市民委員のみなさま

社会福祉協議会 宮平 太さん, 佐津間 裕美子さん
自治会連合会 今村 千顯さん, 本郷 孝さん
民生児童委員協議会 福井 千鶴さん, 東郷 明子さん
目黒 清子さん, 半田 孝代さん
福祉推進委員 片山 良子さん, 山本 弘美さん
内藤 友子さん
コムスク連絡協議会 隈本 由紀子さん, 多田 洋子さん
守上 三奈子さん
子ども会連絡協議会 北中 清史さん
老人クラブ連合会 福永 公子さん
あじさいの会 中谷 多恵子さん, 浅田 廣子さん
身体障害者福祉協会 杉田 俱子さん
身体障害児者父母の会 木村 和子さん
NPO法人芦屋市手をつなぐ育成会 朝倉 己作さん
芦屋家族会 中島 洋子さん
島 サヨミさん
芦屋市商工会 中村 美津子さん
(特活) あしやNPOセンター
上野 義治さん
芦屋いきいき学ぶ会 三木 弘子さん
公募委員
鴛海 一吉さん, 船橋 久郎さん
姉川 昌雄さん, 久武 正明さん
許 和子さん, 野島 さゆりさん

縁の下の力持ち

大阪ボランティア協会 岡村 こず恵さん
エフプラン研究所 原田 仁さん
関西学院大学 和気 輔さん

互いに学びあった

高年福祉課 細井 洋海
吉川 里香
大阪ボランティア協会 江渕さん

編集後記・・・

このたび、市民会議のニュースレターを書かせていただきました。皆様と議論することこそありませんでしたが、市民会議を通して多くのことを学ばせていただきました。これからの残りの学生生活の中で今回の学びを活かせるようこれからも努力していきたいと考えています。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。 関西学院大学 和気 輔

事務局

磯森 健二, 寺本 慎児
竹迫 留利子, 小川 和真
松井 佑季, 福岡 枝里子

5回にわたる(ゼミ含む)市民会議、当初はこんなに皆さん熱く議論されるものとは思わず、私自身楽しんで参加させていただきました。ニュースレターは2回執筆いたしました。今までこういった記事を書いたことがなく、戸惑いながらも、レイアウトや記事のまとめ方など、大変勉強になりました。今回が最後のニュースレターになりますが、今まで読んでくださった皆さん、ありがとうございました。

地域福祉課 小川 和真